

フィールドガイド「埼玉の自然誌」の刊行

井上 素子

この度、『フィールドガイド 埼玉の自然誌 ～埼玉の自然を見る・感じる～』を刊行しました。学芸員おすすめの自然観察コース（地質分野 14 コース、生物分野 13 コース）を掲載し、そこで見られる地層や景色、生物について紹介しています。各コースでは、担当した学芸員が「ここに着眼してほしい」という観察テーマを設定しています。地質コースと生物コースに分かれています。分野横断的に、地域の自然の成り立ちや仕組み、人と自然の関わりについて学ぶことができる内容となっています。

対象とした読者層は、「自然の中を散策したり観察したりすることが好きで、もう一步理解を深めたい方」です。山歩きやハイキングをしながら植物や昆虫を観察して楽しんでいるけれども、そこにどんな生き物がいるのか、それらはこの地域に特徴的なものなのか広域的なものか、目にしている景観は果たして自然そのものか、あるいは人為的な影響が大きいものか、100 年前から変わらぬ景色なのか、地形や岩石と関係は？など、さらに興味がわいてきた時に、その糸口となるような冊子が見つからない、という方は多いのではないのでしょうか。

フィールドガイドは、このような興味に応える

ために、自然の様々な分野にわたるローカルな情報の集積と、それらの情報を日本列島あるいは地球全体の中に位置付けて解説することを心がけました。

一昨年、埼玉県の大地はどのようにしてできたのか、埼玉の生物相にはどんな特徴があるのかまで、埼玉の自然の全体像を見渡せる教科書となることを目指した、『展示解説書 埼玉の自然誌 ～埼玉の自然を知る・学ぶ～』を作成しました。この度刊行したフィールドガイドは、その姉妹編に当たります。展示解説書で学びながら、当館の展示室で実物を間近に観察し、このフィールドガイドを片手に野外の自然観察に出掛けていただく、ということコンセプトにしています。当館の展示と、2冊の『埼玉の自然誌』を併せてご活用いただき、埼玉の豊かな自然を楽しんでいただければ幸いです。

また、当冊子は、令和2年度特別展「埼玉記念物100年」の関連書籍でもあり、県内の史跡・名勝・天然記念物を多く紹介しています。地域の自然の価値を伝えることによって、身近な自然を大切にする意識の醸成に繋がっていくことを願っています。

(いのうえ もとこ・主任学芸員)



【左】フィールドガイド A5判 144P 販売価格 700円
【右】展示解説書 A4判 100P 販売価格 800円



掲載内容の1例

展示解説書の参考ページを掲載